



生活クラブ風車



夢風News

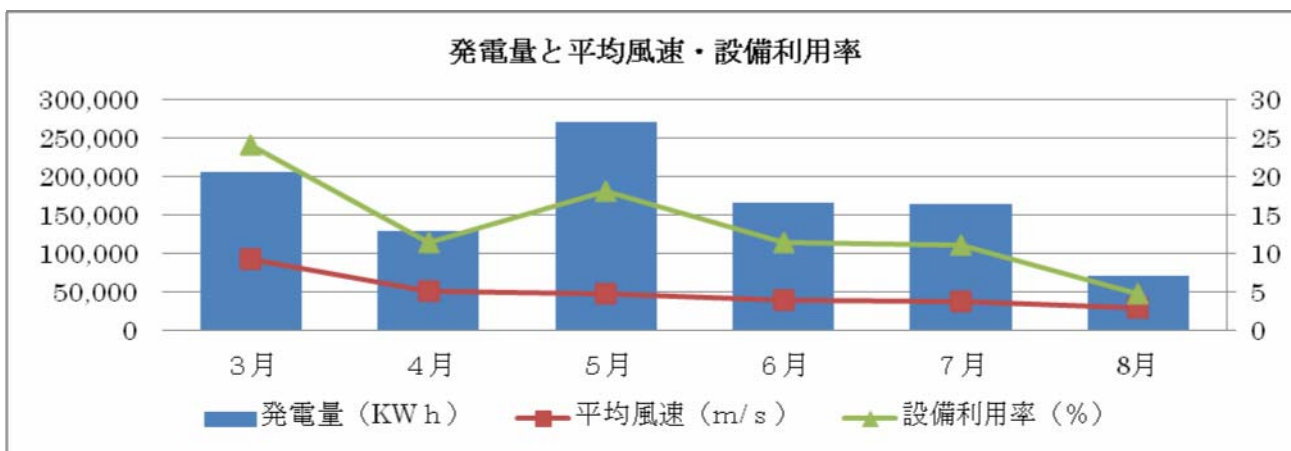
Vol.3

●発行 2012.9.15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩 (代表理事) ●編集責任者 鈴木伸予

■ 風車の発電実績 ■

	発電量 (KWh)	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
3月	206,112	9.3	24.0
4月	129,551	5.2	11.5
5月	269,955	4.8	18.1
6月	165,489	3.9	11.5
7月	164,806	3.8	11.1
8月	71,746	3.0	4.8



- ・今年の秋田は、晴れて最高気温が平年を上回る日が続きました。
- ・平均風速は 3.0mと弱く、風車の発電量も低くなっています。設備利用率も 4.8%となりましたが、夏場は風が弱いことは計画済みです。
- ・8月7日東北電力から解列の要請があり、風車を一時停止しました。

【解列って?】 電力会社の電線への接続を解くことです。電力会社から電線などの工事のために解列を要請されると、

風車を止めて発電を中止しなければなりません。



[写真は、5月11日生活クラブ風車竣工式で、
地元の子供たちによるお祝いの太鼓の様子。
とても寒い風の中、元気よく演奏してくれました。]

■ 8.25 生活クラブ風車～夢風～建設記念イベント in 千葉 旭市 <生活クラブ千葉> ■



「夢風」の稼働を祝い、脱原発・地域から再生可能エネルギーを生み出しエネルギー自治を広げていくことをテーマにした記念イベントは、カンパに協力した組合員を中心におとな55人、子ども7人、生産者15人が参加しました。



旭市、滝のさと自然公園に立っている市民風車「かざみ」の見学では、(株)市民風力発電の加藤秀生さんが、市民風車の概要や風車の説明してくれました。緑の芝生の中に立つ風車は、生活クラブ風車より一回り小さいものですが、柱の高さは64.7m、羽の直径は70.5mあり、実物を見るとイメージしていたのとは全く違って、その大きさに圧倒されました。騒音は、ほとんど感じず、澄みきった青空に風車の白いコントラストがとても美しかったです。風がどんなに強く吹いても風車の回転速度は変わることなく、制御できるような技術で稼働しているという話（速く回転すると竹トンボのように飛んで行ってしまふから）に感心しました。

次の会場となったJAちばみどり海上中央支所には、近隣の元気クラブの生産者も参加して、NPO法人北海道グリーンファンド理事長 鈴木亨さん（右写真）の記念講演を聞きました。

来る道すがら見た収穫間近の黄金色の見事な田んぼの景色に思いをはせ「千葉県の農業を守っていききたい。絶対に原発事故などでふるさと千葉のあの風景をなくしてはならない」と強く思いました。緑豊かで海に囲まれた千葉県は再生可能エネルギーのポテンシャルも高く地域の特性を活かしたエネルギーが期待できます。生産者の



皆さんと共に、すすめていけるといいと思います。

参加者からは「暑かったけれど行って良かった」「風力発電を生活クラブが生協事業として行い、広げていく運動を改めて誇りに思いました」という声が聞かれました。終了後、生産者が用意してくれた朝採り野菜の販売もあり盛況でした。

(理事 井田貴子)



■ 庄内スタディーツアーで生活クラブ風車を見学 <生活クラブ・東京> ■

今年度の庄内スタディーツアーは庄内から少し足をのぼして、生活クラブ風車「夢風」も見学しました。参加者は一般の組合員6名。事前の顔合わせでも、「風車は騒音などの問題があると聞くが『夢風』ではどうなのか？」という話も出るなど、今回の大きな目玉の一つの風車見学からツアーは始まりました。

夏は風が弱く、風車がまわっていないかもと聞いて、不安と期待を抱いていましたが…風を受けて元気に回っている『夢風』の姿が見え、移動の車内からは「大きい！」という歓声が。気になっていた騒音や景観など近隣の住民との関係についても、建設前の丁寧な説明や稼働後もクレームがないと説明を受け参加者全員がひと安心。

生活クラブがにかほ市とのつながりをつくりながら風車による

エネルギー自治を

すすめてきたことも初めての事例と聞き、「次回は地元の酒蔵も見てみたいね」との声も。

風車内部の見学では、発電時と非発電時の音の違いも聞き、発電の様子を体感できました。

参加者自身が自分の目で見ることで、「私たちの風車」がもっと身近に感じられるようになった旅でした。



(理事会事務局 浅原宏子)

■ 夏休みを利用して生活クラブ風車を見てきました！！

<生活クラブ神奈川> ■

神奈川の職員6名で生活クラブ風車を見てきました。

周辺でも風車を見かける事はありましたが真下から見る風車は想像よりもずっと大きい！！思わず皆から「おおお～！」の聲が上がり、勢いよく回る風車の羽の真下に行くとその迫力と風を切る音にまたビックリしました。風車の壁に書かれているコモンズ名になんだか少し嬉しくもなり、組合員にも教えてあげたいと思いました。写真では感じる事が出来ないものを感じて帰ってくる事が出来ました。

(あやせ総合センター：佐々木允、岡本英良、藤井啓太、谷中草太

相模原センター：加藤直之、小田原センター：西岡真作人)

